

# 委託事業実施内容報告書

## 平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 財団法人京都府国際センター

#### 1 事業の趣旨・目的

京都府における日本語支援ボランティアに係る活動は日本語教室の有無やボランティアの数など、地域格差が大きい。地域において必要だと認識していても本来支援すべき市町村や国際化協会はボランティア育成や養成などに取り組む余力がない場合がほとんどである。また、日本語教室の多くは本来その存在が必須であるリーダーやコーディネーターが不足している状況にある。

このような課題を解決するため、(財)京都府国際センターが中心となって、各地域教室のリーダーやコーディネーターを養成することで、持続的かつ循環型の教室運営を目指す。

#### 2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月20日	綾部市立会館市民ホール	花岡正義 諏訪喜栄子 関則子 岡本絹子 麻田友子 近藤徳明	市町村実施分研修会の概要について	・実施地域・日程 ・講師予定者 ・依頼内容
6月19日	京都府国際センター	花岡正義 諏訪喜栄子 関則子 岡本絹子 近藤徳明	北部研修会実施内容について	・日程・会場 ・講師 ・講義・実習テーマ
6月26日	福知山市市民会館	花岡正義 諏訪喜栄子 岡本絹子 近藤徳明	コーディネーター研修会について	・日程・会場 ・講師 ・内容 ・今後の流れ

8月27日	綾部市立会館市民ホール	花岡正義 諏訪喜栄子 岡本絹子 近藤徳明	コーディネーター研修会 について	・内容 ・講師依頼状況
1月15日	京都府国際センター	花岡正義 諏訪喜栄子 岡本絹子 麻田友子 近藤徳明	反省会	・各委員の所感、意見交換 ・講座の評価 ・来年度の予定

【写真】



### 3 講座の内容について

- (1) 講座名：日本語支援ボランティア研修会
- (2) 目標：地域において活動する日本語支援ボランティアのスキルアップとともに、日本語教室の運営に必須のリーダー、コーディネーターとった人材育成を行う。
- (3) 受講者の総数： 74 人  
(出身・国籍別内訳：日本 74人)
- (4) 開催時間数(回数)： 34.5 時間 ( 8 回)  
講義：17 時間 ( 8 回) 実習：17.5 時間 ( 8 回)
- (5) 参加対象者の要件：受講後、地域の日本語教室において主導的な立場を担っていける方
- (6) 受講者の募集方法：
  - ・募集案内(地域国際化協会、大学、国際活動団体、日本語教室など)
  - ・広報誌(京都府)
  - ・府内各教室へのDM
  - ・登録ボランティアへのDM
  - ・ホームページ

(7) 会場

- ア 講義 木津川市役所北別館、加茂文化センター、福知山市市民会館、  
峰山総合福祉センター、綾部市林業センター、京都府国際センター  
イ 実習 木津川市役所北別館、加茂文化センター、福知山市市民会館、  
峰山総合福祉センター、綾部市林業センター、京都府国際センター

(8) 使用した教材・リソース

みんなの日本語、にほんごこれだけ！1

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月15日 10:00～ 15:00	テキストの構成・使い方と授 業の作り方	にほんご空間・京都 澤山 里美	30名
6月18日 10:00～ 15:00	文型練習の種類、国文法と 日本語文法	にほんご空間・京都 村井 喜久美	25名
6月26日 10:30～ 15:30	日本語初級テキストを使った 活動	帝塚山大学准教授 森 篤嗣	31名
7月9日 10:00～ 15:00	会話練習	にほんご空間・京都 樋口 リサ	29名
7月23日 12:30～ 17:00	日本語がほとんどわからない 学習者との活動～コミュニ ケーション力を磨く！～	金沢大学准教授 松田 真希子	31名
8月27日 10:30～ 15:30	①帰国・外国人児童生徒の 受け入れに関わる、現状と 課題 ②外国語として日本語を見 てみよう	①京都市総合教育セン ター 大菅 佐妃子 ②財団法人海外技術者 研修協会 澤田 幸子	44名
1月14日 10:30～ 16:30	コーディネーター研修～組 織論、団体運営について～	きょうとNPOセンター 事務局次長 田口 美紀	32名
1月15日 10:30～ 16:30	コーディネーター研修～リー ダーシップについて～	きょうとNPOセンター 事務局長 野池 雅人	32名

## (10) 講座の評価

### ① 受講生に対するアンケート

研修会終了後にアンケートを実施。アンケート結果は別紙

### ② 実施主体からの研修内容結果評価

- 府内各地開催の連続講座をすることで普段つながりのない地域のボランティア同士が意見交換、情報交換ができる機会を提供できた。
- 府内各所で実施したことでそれぞれの地域の日本語教室と顔の見える関係づくりができ、府内全域の教室ネットワーク構築のきっかけになった。
- スキルアップ研修と合わせてコーディネーター研修を実施したことで、教室の運営に悩まされていたリーダー的立場のボランティアに対する効果的な支援事業となったとともに、他のボランティアに対しても資金調達やボランティアコーディネーターなど運営面の重要性に対する気づきを与えられた。

### ③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

多文化共生創出の拠点となり得る地域の日本語教室へは今回のようなボランティア研修会などを通じて引き続き支援を続けていくとともに、府内全域の日本語教室ネットワークを確立できるよう努めていく。

## (11) 事業の成果

### ① 他事業との連携

東日本大震災の被災地域から日本語教室は在住外国人のセーフティーネットとして機能したとの報告があった。外国人向けの防災教育や防災訓練などを地域の日本語教室と連携した取り組みを実施していきたい。

### ② 研修後の人材活用

地域日本語教室のリーダーやコーディネーターは日本語指導だけでなく、災害時支援や多文化共生についての知識を得てもらい外国人支援サポーターとして当センターの事業に協力してもらえよう、各分野の講座や研修への参加を促していく。

## (12) 今後の課題

いくつかの地域が協働して実施する研修会となったが、各教室の考え方や指導方法など独自のものがあるので、共通のテーマを設定するのが難しい。地域間の情報交換を考えると欠かせない協働実施をするにあたって、各教室のニーズを満たしながら、連続性を持たせた研修内容を考える必要がある。

## 日本語支援ボランティア研修会 アンケート結果

期間:平成 23 年 5 月 15 日～  
平成 24 年 1 月 15 日

## スキルアップ研修会について

よかった	66
これからの活動に役立つ	53
難しかった	7
あまり役に立たない	2

## 主な意見

- 日本語支援ボランティアの役割とは何かということがよく分かりました。
- 気分的にボランティアすることが楽になった。
- おしゃべり型は、楽しい反面、難しい面もあります。それがよく分かってよかったです。
- 0 初級者にどう日常に使う言葉でリキャストしながら語彙を増やし、コミュニケーションを広げるか、おしゃべり型活動の楽しさと難しさを実感。
- 実践しながらアドバイスをもらうことによりすぐ分かりやすかったです。
- 他の地域で活動されている方とお話できて楽しかったです。一方的な講座ではなく、知らなかった同士の方たちとの活動が良かったと思います。
- 帰国・外国人児童生徒の現状がよく分かった。
- 子どもの指導は今のところないが、知ってよかった。
- 学校での留意点で参考になりました。
- 「外国の学校で授業をうけてみよう」はすばらしいアイデアです。子どもに相手の気持ちを考えさせ、学びあう点が画期的です。

## コーディネーター研修会について

満足	14
やや満足	12
どちらでもない	2
やや不満	0
不満	0

## 主な意見

- 知らない新情報を得られることは良かった。
- 他の同類団体も同じような問題を抱えているのを知れて良かった。
- ボランティア団体を立ち上げるためのノウハウを学ぶことができ、役に立ちました。

- 多くの人たちと活発な意見交換する時間が十分にあった。
- あらためて考える作業は気づきにもなるし、さらなる向上には必要である。
- マッチングする担当者としてのコーディネーターについてもっと学びたかった。
- 知りたいこと(組織立ち上げのノウハウ)等について少し分かった。
- 新たに学べた点、改めて見直せた点があり、今後の活動に活かせる知識を得ることができました。
- ワークショップでは様々な団体の情報が得られて役に立った。
- 講義はわかりやすかったが、もっと様々なボランティア団体の事例をあげて紹介してほしい。(良い点、問題点・トラブルなど)
- 受講生に重きを置いた話の進め方がとても良かった。よく理解ができ満足でした。
- ぼんやりとやらねばいけないと思っていた事をはっきりと言葉で明確化することができた。リーダーとして任務を明確にすることができた。
- ミッションの再確認ができてよかったです。
- 意見交換の場では様々な方のお話を聞くことができ、また自分の意見のフィードバックも頂けてとてもよかったです。皆さん温かい雰囲気たくさん話せました。講義もとてもわかりやすく勉強になりました。
- 考え方が整理できた。
- マネジメントは手段であり、目的ではないということに気がきました。マネジメントは日本語ボランティア研修では新しい切り口でした。

今後、研修会を希望されますか

希望する	81
希望しない	1
どちらともいえない	4

希望する研修内容

- 具体的なイントネーション、発音の直し方
- 日本と他国の文化の違い(習慣、考え方、法律など)
- 漢字指導のノウハウ
- ボランティアをしていて困った時、どう解決すればいいか具体的に教えてほしい。
- 文法の研修会
- 日本語支援者のスキルアップ
- ファシリテーターに関する勉強がしたい。
- 日本語教室に求められる役割→多文化共生社会の構築へ向かって
- 行政と教室との関係、その問題解決について
- 生徒募集、ボランティア募集でうまくいっている事例
- 外国人の日本滞在に関する法的な情報(結婚・離婚、仕事・アルバイト、ビザなど)

- 学習者のニーズとカリキュラム
- 資金調達の方法としてどのようなものが考えられるか。具体的なものを教えてほしい。  
(バザーなどの例はないでしょうか)
- 学習者への指導方法
- 学習者が分かりやすいと思う教材づくり
- 日本語指導のスキルアップはもちろんですが、今回のような運営の研修も大変参考になりました。